

令和5年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立花高小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	0956-38-8814			氏名	岡本邦明
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	体罰の禁止①、教育公務員としての自覚の醸成、情報セキュリティ対策の徹底①、セクハラ（パワハラも含む）、わいせつ行為の防止			
<u>取組の評価・改善点</u> ○5 教学第20号令和5年4月12日付「教職員の服務規律の保持について（通知）」を配付し、口頭による読み上げ・指導を行うことによって、教育公務員としての自覚及び法令遵守精神の醸成を図ることができた。 ○市教育委員会作成「私の『体罰』根絶宣言」と「体罰・不適切指導防止のための自己温床度チェック票」の提出及び業績評価シート「体罰によらない指導」への具体的な取組の記載によって、日々の実践に生かすことができた。 ○「わいせつ行為等防止のための自己分析チェックシート」を実施する時間を設定し、全教職員が確実にセルフチェックを行うようにした。					
7月	実施テーマ	体罰の禁止②、公金等の不正処理の防止、情報セキュリティ対策の徹底②			
<u>取組の評価・改善点</u> ○県教育委員会発行の「教職員のためのコンプライアンスハンドブック」を活用して、体罰及び不適切指導の防止のための具体的な方策について全体で協議を行い、体罰及び不適切指導の防止に向けた指導方法の共通理解を図った。 ○7月24日（月）に佐世保人権擁護委員会協議会の講師を招き、職員研修（体罰根絶のための啓発フォーラム）を実施した。講師から体罰や不適切指導を出さない適切な指導方法についての指導や小グループでの協議を行った。 ○学校情報セキュリティ研修会に参加した職員による情報セキュリティに関する伝達研修会を実施した。セキュリティポリシーの確認や事故事例の紹介を通して、情報セキュリティ対策についての理解を深めた。					
12月	実施テーマ	体罰の禁止③ 飲酒運転の根絶 不祥事防止の自己評価			
<u>取組の評価・改善点</u> ○年末年始の飲酒の機会が増える時期に合わせ、飲酒運転の根絶と体罰・不適切指導防止をテーマに、自己温床度チェック表の確認と不祥事事例の確認を行った。併せて、道路交通法や教職員の懲戒処分基準について確認した。					
2 服務規律委員会					
委員会名	花高小服務規律委員会				
構成員	所属内委員（12名）、外部委員（10名 役職等：学校支援会議委員他）				
3 年間を通しての計画の達成状況					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	ウ	オ	カ	キ	ケ				
---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 不十分だった	<input type="checkbox"/> 実施していない
---------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

資料添付

有 ・ 無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。